

科目名	バリアフリーデザイン論	英語科目名	Barrier Free Designing	
開講年度・学期	平成23年度・後期	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻(建築学コース)2年	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	2単位	単位種類	学修単位(15+30)h	
担当教員	瀧澤雄三	居室(もしくは所属)	建築学科棟3階	
電話	0285-20-2830	E-mail	takizawa@oyama-ct.ac.jp	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件	
	1.基本的な障害者関連用語、バリアフリー関連用語を説明できること。	④	A-2	d(2-a)
	2.障害とその行動特性を理解し、説明できること。	④	A-2	d(2-a)
3.住宅を対象に、バリアフリーデザインの考え方、計画方法を理解し、説明できること。	④	A-2	d(2-a)	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1～3. 課題に対する提出レポートの内容を設定基準で評価し、60%以上を達成とする。				
評価方法				
評価は随時提出させるレポートとその内容の理解度により評価する。 なお、原則として正当な理由なく3回以上欠席した場合は単位の認定はしないので注意すること。				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
1.ガイダンス	バリアフリー関連用語に関する課題			
2.障害者とは。ハンディキャプトとは	障害者の分類等に関する課題			
3.障害とその行動特性(1)	障害とその特性に関する課題①			
4.障害とその行動特性(2)	障害とその特性に関する課題②			
5.障害と福祉用具1(杖、歩行者、リフト等)	各種福祉用具に関する課題①			
6.障害と福祉用具2(段差解消、EV、入浴等)	各種福祉用具に関する課題②			
7.住環境整備計画1(床、段差等)	床、段差等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題			
8.住環境整備計画2(手すり、空間)	手すり、空間等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題			
9.住環境整備計画3(建具、収納等)	建具、収納等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題			
10. 住環境整備計画4(移動、入浴等)	移動、入浴等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題			
11. 住環境整備計画5(排泄、調理、食事等)	排泄、調理、食事等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題			
12. 住環境整備計画6(寝る、団らん、清掃、洗濯等)	寝る、団らん、清掃、洗濯等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題			
13. 住環境整備計画7(庭、外出等)	庭、外出等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題			
14. 住環境整備計画8(設備:スイッチ、照明、浴室、トイレ等)	スイッチ、照明、浴室、トイレ等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題			
15. 住環境整備計画9(エアコン、換気、調理、家具等)	エアコン、換気、調理、家具等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題			
			自学自習時間合計	
キーワード	高齢者、障害者、空間、配慮、計画、設計			
教科書	特になし。必要に応じ随時プリント等を配布。			
参考書	バリアフリーの生活環境論(医歯薬出版)、高齢者・障害者のための住居改善(学芸出版社)、高齢者のための建築環境(日本建築学会) その他			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	建築計画Ⅰ、建築計画Ⅱ、建築計画Ⅲ、地域施設計画論、地域設計1、まちづくり論			
現学年の関連科目	居住地計画論			
次年度以降の関連科目				
連絡事項				
1.毎回出す課題は必ず自分で調べ、レポートとして提出すること。 2.レポートは文献の写しではなく、必ず自分の言葉で書くこと。 3.この毎回出す課題をやってこない講義についていけないので、必ず調べて、その内容を十分理解した上で授業に臨むこと。				
シラバス作成年月日	平成23年2月22日			